

BANANA FISH Journal

#24

炎に消える“バナナフィッシュ”歩き出すそれぞの決意

フォックスの銃弾に倒れるゴルツィネ



フォックスの裏切りだった。それを合図に閉まるシャッターに外の仲間たちは締め出され、アッシュだけが建物内に残される。

建物の外、フォックスの部下たちに囲まれ、撃ち合いになるシンやケインたち。ブランカが先導し、別の入り口から建物内への侵入を試みる。

一方、伏せるゴルツィネを見下ろし、コルシカ人財団もバナナフィッシュの薬ももらうと宣言するフォックス。反抗するアッシュを殴りつけて気絶させ、これから飼いならし、意のままにしてみせると続ける。役目は終わりだと告げられたゴルツィネは、身の程知らずだと吐き捨てフォックスを強くにらみつける。そこへセンター脱出のためバナナフィッシュのサンプルや資料の入ったケースを抱え駆けつけたマーハイム。状況に息をのむ中、今まで通りのポストを約束するから引き続き従うよう指示するフォックス。ゴルツィネはひとり取り残される。

裏口から建物内へ侵入したシンたち。そのまま人質の救出に向かい、済んだらすぐ逃げるよう伝えるブランカ。自分はアッシュを取り戻すと言い、去っていく。足が止まっていたシンは、後をケインに任せ追いかける。壁から様子を伺い、フォックスの部下たちを撃つブランカ。横に並ぶシンにニヤリと返し、二人は先へ進む。

ケースを預かり、ヘリコプターのある格納庫へマーハイムを誘導するフォックス。センターを爆破し、脱出する準備を進めていた。

麻酔を打たれたアッシュは、格納庫のヘリコプター内にいた。フォックスの部下が立ち去ると、スッと目を開ける。

通路でシンに、センターの設計図を見せてもらうブランカ

アッシュには何も言われていないのかと聞かれ、シンたちの手助けしか頼まれていないと返す。アッシュは始めから捨て駒になるつもりだった。自分の意志でアッシュを助けに行くと決めたブランカ。ふと、眺めていた設計図から最上部が格納庫になっていることに気づく。

マーハイムを連れ格納庫へ来たフォックスたちだが、アッシュが乗っているはずのヘリコプターはもぬけの殻。冷静なフォックスは、ロックのかかったこのフロア内にいるアッシュを何としても探し出せと、部下たちに命じる。

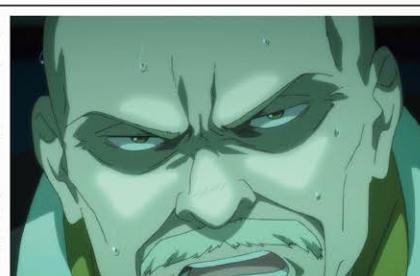
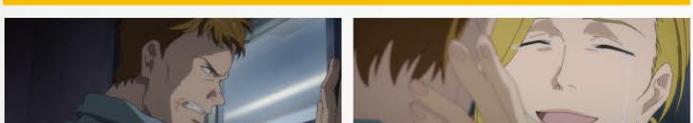
その頃、病室にいる英二は、母に帰国する旨の電話をかけていた。切ると、室内にいる刑事のジェンキンズとチャーリーにアッシュの行き先は知らないときっぱり告げる。気にかけていただけで、英二を詰問するつもりは全くなかったジェンキンズたち。彼らはクラブ・コード捜査のため、被害者であるアッシュの話を聞きたいだけだった。頭が混乱していたと英二は謝る。アッシュがまたひとり、遠くへ行こうとしている気配を感じ、思い詰めていた。

アッシュが見つからない中、格納庫の上部ハッチが開かないというトラブルが起きていた。メイン・システムのコードが変更されていると報告する部下。今のアッシュにそんな余裕はない……気づいたフォックスは息をのむ。

コントロール室では、瀕死のゴルツィネがモニターに向き合っていた

狭いダクト内を這って進むシン。格納庫へ通じる扉にはロックがかかっているため、ダクトから屋上へ出て外部から侵入するほかなかった。背後で音がし、振り返るシン。ベコベコぶつかりながら、ブランカが格闘している。動けず苦笑いのブランカにため息をつく。

人質の救出に向かったケインたちは、独房の近くでフォックスの部下たちと激しく撃ち合っていた



同じ頃、ダクトから顔を出すシン



ブランカも出口にほっとするが、尻がはまって抜けられない。もたもたするブランカの顎をつかみ引っ張るシン。そこへ丁度通りかかるマーハイムとフォックスの部下たち。ヘリポートへ向かう途中だった。部下が撃とうとする前に、飛龍牙を放つシン。続けてブランカが撃ち倒す。残されたマーハイムはケースを手に走り去る。すぐ追いかけようとするシンを呼び止めるブランカ。手を貸して欲しい、と団体はダクトにはまったまま。本気で呆れるシン。

マーハイムはケースを大事そうに抱え、先を急ぐ。物騒なフォックスに従う気はなかった。バナナフィッシュのすべてが入ったこのケースがあればどうにでもなる。建設中の新館へ向かう連絡橋に足をかけたところで——背中に突きつけられる銃。後ろに立つアッシュ。殺さないでくれと、証人として出るところへ出てもいいと必死に懇願するマーハイム。

一方のフォックスたちは屋上のヘリポートへ。もうすぐ外から呼んだヘリコプターが到着するはずだった。そのとき、部下のペインが、新館を歩くアッシュとマーハイムの姿を見る。ケースを奪われたら終わりだと、そしてアッシュを捕らえるため一斉に新館へ向かう。

BANANA FISH
café&bar OSAKA
開催決定!!



日程

2019年1月10日(木)~2月17日(日)

場所

あべのキューズモール デラソウルシャルボン

カフェ公式webサイト

<https://bananafish-cafebar.jp/>

カフェ公式Twitter

https://twitter.com/bananafish_cafe

東京・新宿で好評のうち終了した
BANANA FISH café&bar
大阪店舗の初開催が決定しました!

カフェは先着予約制です。

ご予約して来店された方には

A3クリアポスターをプレゼント!

予約に余裕がある場合は

当日席をご用意しております。

皆様のご来店をお待ちしております!

KEY CHARACTER



アッシュ・リンクス
ASH LYNX

(CV.内田雄馬)

ニューヨークのストリートギャングのボス。
金髪、緑の瞳の類まれな美しい容姿に、
IQ180以上の高い知能、
そして卓越した先頭能力を兼ね備えた少年。

HP

<http://bananafish.tv/>



Twitter

@bananafish_tv

Instagram

bananagram

BANANA FISH Journal

#24

建設中の新館にいるアッシュたち

下の階から迫るフォックスの部下たちの足音を聞く。都合よく部下に助けを求めるマーハイム——その額を貰く銃弾。立ちはだかるフォックスだった。逃げ場はないと言ふに呼びかけ、その背後に現れるヘリコプター。中に積み込まれたガトリング砲から、銃撃の嵐が。鉄柱の陰から陰へ走って逃げるアッシュ。

その様子を、屋上の縁から乗り出し見ていたシンたち

ブランカはシンの肩を借り、ライフルを構えると、ヘリの操縦士を標的に引き金を引く。揺れながら新館にぶつかり、墜落するヘリコプター。ブランカのすさまじい腕に驚くシン。下からアッシュを追う部下たちを何とかしなければと、彼らの注意を引き付けてほしいと、危険を承知で頼むブランカ。シンは力強くうなづく。

想定外のこと悔しさをにじませるフォックス。すぐに駆け出し、アッシュめがけて銃弾を放つ。隠れながら撃ち返すアッシュに執拗に迫るフォックス。身を潜めたアッシュは息も絶え絶え、もう弾は残っていない。

連絡橋へ降りたシンは、銃撃で部下たちの足を止める。

銃を構え、忍び足で気配の消えたアッシュを探すフォックス。その目の前に振り下ろされる鉄パイプ。銃を叩き落される。すぐさま自分も鉄パイプを取り、対峙する。アッシュの様子から、腹に傷があるとわかりニヤリとする。向かってくるアッシュ。

シンの射撃に手こする中、ひとりまた一人別の場所からの狙撃に倒れていく部下たち。スナイパーの存在に気づいたときには、最後のペインも撃たれる。すべての部下が倒れた後、シンが手を振り、屋上にいるブランカを返す。切り替えてアッシュのもとへ急ごうとするシンは、置いてあるケースが目に入る。確かアッシュが持っていた……。



向かい合うアッシュとフォックス

必ず屈服せると、過去の苦痛を思い起こせるようにフォックスは語り掛ける。アッシュが攻めても、かわす動きには余裕がある。アッシュは鉄パイプを捨て、フォックスの持つパイプを駆け上がり、回し蹴りを放つ。が、寸前で避けられる。逆に腹を蹴り飛ばされ、床に体を打ち付ける。フォックスはアッシュにのしかかると喉に鉄パイプを押し当て、所詮男娼などのしり続ける。

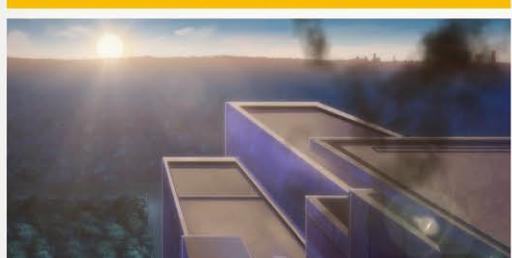


そこへ激しい爆発の音が



脱出直前にセンターを吹き飛ばすはずだった爆弾のスイッチを、部下のペインが息絶える前に押したのだ。爆風で新館の足場も崩れ、吹き飛ばされるシン。その隙、爆発に気を取られたフォックスの顔に鉄パイプをぶつけ、這って逃げようとするアッシュ。怒りのフォックスはアッシュを捕らえて再びのしかかり、左肩をナイフで刺す。えぐるように深くめり込ませる、鬼の形相のフォックス。アッシュは激痛に耐え、右手の先にある電気ドリルに手を伸ばして、ついに掴むとフォックスの腹に突き刺す。悶絶するフォックス。にらみ合い、お互い凶器を刺し込み続ける。そしてフォックスの手から力が抜け……ついに動かなくなり、倒れる。息を切らして立ち上がるアッシュは、叫ぶ声を聴く。下をのぞき込むと、片手で縁につかまつた状態でぶら下がっているシンの姿が。風で体が揺れ、下には炎が広がる。駆けつけたアッシュは、滑り落ちそうな手を間一髪で握る。ためらうシンにケースを捨てさせ、両手をつかめたところで頭に銃を突きつけられる。フォックスだった。手を放せと言うシンに、動かないよう伝えるアッシュ。フォックスが勝ちを確信したところで——頭から血が飛び散る。フォックスの倒れた、その向こうに立っているのは、ディノ・ゴルツィネ。銃は下ろさず、アッシュと向かい合う。言葉なく見つめあう二人。ゴルツィネの持つ銃が徐々に下がり、体が傾く——ハッとするアッシュ。ふらつく足は縁から下へ、燃え広がる炎の海へと落ちていくゴルツィネ。アッシュを見つめたまま……。無意識に足が動くアッシュは静かに見送る。

横に立つシンが、なぜ自分を助けたのかと問いかける



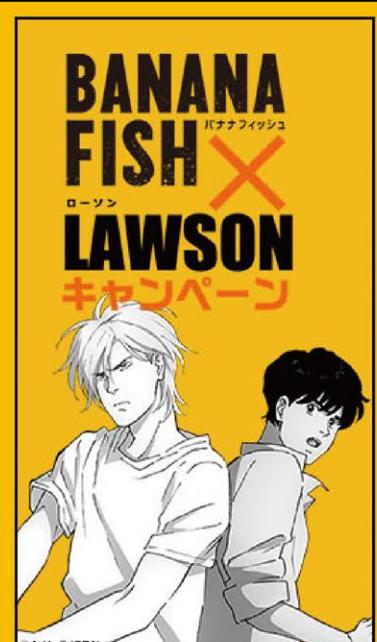
殺すために助けたのではない、もう終わりにしようと言うアッシュ。シンはよくやったと——そこへ割り込むブランカ。風向きが変わる前に引き上げようとしたが、爆破された本館を脱出してきた顔は斯まみれ。見ていたなら助けろと、つづくアッシュ。ブランカはあえて手を出さなかったと返す。ゴルツィネもこの結末が本望だったんだろうと……。目を伏せ言葉を返さないアッシュ。夜が明けようとしていた。

政府の公職にある者が未成年を買春していた——このスキャンダルにホワイトハウスは会見を開いていた。その様子をテレビで見るニュース・ウィークの編集長たち。その中でひとり、マックスは浮かない顔をしていた。ジェシカが気に掛けると、マックスの携帯電話にメールが届く。開くと「おめでとう父さん」の文字とブタの絵文字が。匿名でもわかる、アッシュからだった。驚くマックス。無事が分かって安心し、切なさも滲んだ優しい顔をする。



シャンパンをぶちまけ、部下を怒鳴りつける月龍。ひどく酔っていた。たしなめるように声をかけるシン。やさぐれソファーにもたれる月龍に対し、静かに銃口を向ける。立ち上がる月龍は、当然の権利だと死を覚悟していたように受け入れる。月龍が李家を憎む理由を、シンはブランカから聞いていた。同情めいたことを口にしたところで、何がわかるのだと激しく叫ぶ月龍。シンは正直な気持ちを伝える。兄たちと違い、月龍は同じ中国人を利用することなどしないと信じていた。それをアッシュと英二に対する嫉妬のために裏切ったのだと。否定できない月龍はカッとなり、シンの頬をはたく。シンもすかさずはたき返すと、倒れ込む月龍。シンは続ける。流れる血は変えられないこと、前を向き、生きて罪を償ってほしいこと。自分も助けるから、荒んではしまったチャイナタウンを立て直すのだと。月龍は、兄たちを憎むことだけを支えに生きてきた自分に、そんな力はないと弱々しく返す。許せないけれど、月龍を憎むことはできないと言うシン。心は傷付き、血を流している……そこはアッシュと同じ。自分のことも憎んでいた月龍の頬に涙が伝う。見かねたシンが、女みたいにメソメソするなど言うと、見た目通りで悪かったなど、へたり込んだまま言い返す月龍。止まらない言い合いが始まる。

BANANA FISH × LAWSON キャンペーン



Pontaカード

BANANA FISH Pontaカード
(A4クリアファイル付)
発売決定!

ローソンLoppi
HMV&BOOKS onlineにて
予約受付中!



 詳しいキャンペーン情報は、こちら!
<http://www.lawson.co.jp/lab/campaign/bananafish/>

KEY CHARACTER

奥村英二 EIJI OKUMURA (CV:野島健児)

カメラマン助手として
ストリートギャングの取材にやってきた
日本人大学生。
周囲を和ませる純粋で素直な性格だが、
頑固で無鉄砲な一面もある。

HP

<http://bananafish.tv/>



Twitter

@bananafish_tv

Instagram

bananagram

BANANA FISH Journal

#24

寒空の下、セントラル・パークのベンチに腰掛け、小説を読むブランカ。脇にはトランクが置かれ……今日ニューヨークを発つ予定だった。隣に座るアッシュ。ギャラを払いに来たと、雑に金を渡す。ずっと気にかけていた、月龍のことを尋ねるブランカ。律儀だと呆れつつ、お人好しのシンに月龍は殺せないし、自分もわざわざ出向いて殺す趣味はないと言えるアッシュ。安心するブランカ。続けて、英二が明日帰国するそようと口にする。そんなブランカに対して、アッシュは本心を——ブランカが前に言った通り、自分は英二の人生にかかわってはいけない人間なのだと、わかっていて認めたくなかったのだと伝える。出会ってからやがて、英二の持つ優しさや誠実さ、温かさが自分を満たしてくれたこと。対する自分は、何も感じず人を殺し続ける。冷酷な自分がひどく恥ずかしいと……。もう二度と会わないけれど、友だちを想い続けることは許されるだろうと決意をにじませるアッシュ。これからどうするのかと聞くブランカに、今まで通りだと答える。ブランカは目を落とし、一緒にカリブへ来ないかと静かに言う。驚き見つめるアッシュは、いつかの言葉を——孤独を埋めるために自分を連れていくのかと返す。らしくない、と。目を伏せ、自らの言葉を取り消すブランカ。アッシュは立ち上がり右手を差し出す。最後に握手を交わし、別れる二人。



帰国する日、ひとり病室にいる英二のもとへシンがやってくる



すぐにアッシュの安否を尋ねる英二。アッシュが会いに来ていないことに首をかしげるシン。英二は手紙を取り出し、アッシュに渡してほしいと頼む。きっと図書館にいるからと。

図書館のリーディング・ルームで本に目を落とすアッシュ。さりげなく時計を気にしている。そこへ声をかけるシン……その様子を、何者かが物陰からうかがっている。

外のベンチで英二の手紙を受け取り、驚くアッシュに、なぜ会いに行かないのかと声を荒げるシン。友だちなのにと続けると、友だちだからだと、銃と殺し合いのない元の世界に戻るために会いに行かないのだと叫ぶアッシュ。握る拳は震えている。英二の発つ時間は迫っている……背中を向けるアッシュに、何か伝えることはないかと、なおも尋ねるシン。黙ったままのアッシュを罵り、走り去る。

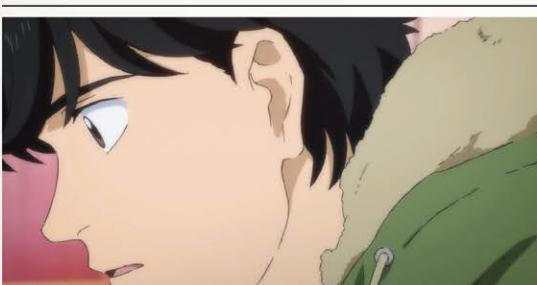
英二にはアッシュの気持ちが分かっていた。自分のために、アッシュは最後まで来なかつたのだと。けれど本当にそれでいいのか、あきらめきれない。隣では伊部が、空港まで見送りに来てくれたマックスたちと話している。英二は浮かない顔をしていた。

ベンチに座り、手紙の封を開けるアッシュ。中には日本行きの航空券が入っている。マックスたちに別れを告げ、搭乗ゲートへ向かう英二たち。柱の陰に、こっそり見送るアレックス、ボーンズとコングの姿を見る。笑顔になる英二。

読み始めた手紙には、英二の正直な気持ちがつづられていた

アッシュを心配していること。アメリカでアッシュと出会えて嬉しかったこと。そして本当に、アッシュが恐ろしく見えたことなどなく、それどころか自分よりもずっと、傷ついているのではないかと感じてきたこと。はるかに強く見えるアッシュを、守らなければと思ったと思っていた、と。

その言葉に胸をつかれるアッシュ。立ち上がり、走り出す。手紙を握りしめて必死に——そんなアッシュにドンとぶつかってくる人影。足が止まり、目を見開く。



“英二”——名前を呼ばれた気がした

勢いよく振り返り、辺りを見回す英二。気のせいかな顔を上げるとゲートの上、アレックスたちとシンの姿もある。アッシュがまた会おうと言っていたと、必ずアメリカに来いと伝えるシン。必ず来ると、呼び手を振る英二。

アッシュの足元に滴る血。腹を深く刺されていた。身を引くのは、ラオの姿。アッシュはその胸元に銃を当て、引き金を引く。壁を背に崩れ落ちるラオは、最後までシンを守りたいだけだった。息を切らすアッシュは、落ちてしまった手紙をかき集める。

飛び立つ前の飛行機の中、窓の外を眺める英二

気遣う伊部に、アッシュのことを話した。図書館でひとり、本を読むアッシュを見たときのことを。とても静かで、ひどく孤独だったその姿を。その時、何があっても自分だけはアッシュを信じようとした。アッシュを取り巻く運命から、自分はアッシュを守りたかったのだと、うつむき涙を流す英二。

手紙を握りしめてゆっくりと歩くアッシュ。リーディング・ルームに戻り、いつもの席の向かい側——英二の席へと崩れるように座る。そして手紙を広げる。



“君は1人じゃない。ぼくがそばにいる。 ぼくの魂はいつも君とともにいる”

見つめる手紙に涙が落ちる。流れる涙はそのまま、天を仰ぐアッシュ。差し込む光の中で空を見上げて……。

アメリカの地を離れる飛行機。窓外に広がる夕暮れの空を見ながら、英二は心で呼びかける。君にさよならは言わないと。どんなに遠く離れていても、きっと会える。君は最高の友だちだと……そっと英二は目を閉じる。

机に伏せるアッシュに、司書が声をかける。のぞき込むと幸せそうな寝顔が見える。仕方なさそうに微笑んで立ち去る司書。そして——日々は続いている。



BANANA FISH × LAWSON キャンペーン

バナナスムージー

第1弾が好評につき第2弾が登場!
「バナナチョコレートスムージー」が
数量限定で発売中!

完熟バナナに
ベルギー産のチョコレートと
北海道産生クリームを使用した、
チョコバナナ味のスムージーです。
デザインは通常ver.4種
+シークレットデザイン!

その他にもキャンペーンや、
ローソンでしか手に入らない
スペシャルコラボ商品を発売します。

バナナチョコスムージー

BANANA CHOCOLATE SMOOTHIE

バナナチョコレートスムージー
BANANA CHOCOLATE SMOOTHIE

NEW!
12/18 Release!



販売期間:2018年12月18日(火)~
※なくなり次第終了



詳しいキャンペーン
情報は、こちら!

<http://www.lawson.co.jp/lab/campaign/bananafish/>

KEY CHARACTER



**マックス・ロボ
MAX LOBO**

(CV.平田広明)

フリーのジャーナリスト。
元アメリカ陸軍の軍人で、
正義感が強く、
ある事件を単身調べている。

